

専門分野 地域・在宅看護論 授業計画

授業科目及び時間数	地域・在宅看護概論 1単位 15時間		
開講時期	1年次 前期		
担当教員	大石敦子・大畑浩美	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>療養の場における看護は、社会の変化に伴い刻々と変化していく制度や地域包括ケアシステムを基盤とし、地域全体を見渡し、ケアを展開する役割を期待されている。このような役割を理解するためには、地域で生活する人々について理解し、その人々を支援することを学ぶ必要がある。これまでの看護の変遷やその社会背景をはじめ、生活する人々を支える看護の目的・基本的な理念や関連する概念を理解し、対象と家族を含めた支援の在り方を知る。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域で生活する人々を知る。 2. 生活する人々への支援を通し、地域・在宅看護の機能と役割を理解する。 			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 地域・在宅看護が必要とされる社会的背景と役割	講義（大畑）	
2回目	1. 生活と看護 ・看護の対象と場 (看護の対象としての家族、家族理論の理解) 2. 環境と健康	講義・グループワーク (大畑)	
3回目	1. 地域・在宅看護の倫理と基本理念、対象者の権利保障	講義・グループワーク (大畑)	
4回目	1. 地域・在宅看護における療養の選択	講義・グループワーク (大畑)	
5回目	1. 地域・在宅看護の目的と役割	講義（大畑）	
6回目	1. 地域・在宅看護の提供方法及び意思決定支援 2. 療養の場の移行	講義・グループワーク (大石)	
7回目	1. 地域・在宅看護の制度 2. 発展の経緯とケアマネジメント 3. 介護保険制度 4. 訪問看護制度・訪問看護サービスの提供	講義・演習（大畑）	
8回目	終了試験	(大畑)	
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	授業は個人ワーク、グループワークを中心に行う。このワークでの学びが試験評価に反映されるので、積極的に取り組んでほしい。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 在宅看護論 医学書院		
参考書			